

第 14 回 ITS 世界会議

14th World Congress on Intelligent Transport Systems, Beijing in China, 2007

中村 俊之* 絹田 裕一* 中嶋 康博* 牧村 和彦*

By Toshiyuki NAKAMURA, Yuichii KINUTA, Yasuhiro NAKAJIMA and Kazuhiko MAKIMURA

1. はじめに

ITS 世界会議 (World Congress on Intelligent Transport Systems) は、欧州地域、アジア太平洋地域、北米地域の持ち回りで毎年開催されており、14 回目の今回は中国・北京にて 2006 年 10 月 8 日～12 日の日程で開催された。本稿ではその模様を報告する。

2. 第 14 回 ITS 世界会議の概要

天安門広場からほど近い北京博覧展で実施され、46 カ国から約 5,800 人が会議に参加し、約 40,000 人が展示見学に訪れた。



写真-1 第 14 回 ITS 世界会議の様子

(1) 展示発表

展示発表には 163 の団体・企業（うち日本から 22 の団体・企業）が参加し、各国の行政機関による自国の ITS への取り組み、自動車メーカー、電機・通信機器メーカー等が自社の ITS 関連技術・製品の紹介を行っていた。

(2) セッション

論文発表・討論は、テーマ別に分かれたセッションにおいて、各国の行政機関、自動車メーカー、電機メーカー等から ITS 関連の最新情報が紹介され、

いずれも活発な議論が交わされた。

著者らが聴講したセッションの中では、オーストラリア、チェコ、ドイツの各国で行われている DSRC を活用した大型車課金制度の仕組みと運用上問題点を整理した発表があり、我が国の DRRC 活用においても参考となるものであった。この他にも、我が国の ITS 施策の参考となるものが多く、有意義な会議であった。

(3) テクニカルツアー

会議と並行して、4 つのテクニカルツアーが実施され、筆者らは BRT ツアーに参加し、北京市内を走行する BRT を視察した。BRT 専用車線が設置され、市内に発生する慢性的な渋滞を横目に快適な走行が担保され、利用客も多く、地域住民の重要な移動手段となっていた。



写真-2 北京市内の BRT 走行の様子

3. おわりに

中国・北京では 2008 年 8 月にオリンピック開催が控えており、北京市内では急ピッチで都市施設や道路整備等の準備が進められていた。ITS 世界会議の会場にも多くの人が訪れ、活気のある会議となっていた。なお、来年度第 15 回 ITS 世界会議は米国のニューヨークで開催される。米国では交通事故低減に向けた VII（路者協調システム）を積極的に推進することが表明されており、次のニューヨークではその成果が発表されることを期待する。

* 道路計画研究室